

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	780-1408
平成18年度部名	保健福祉部	課名	津久井福祉課	課長名	斉藤 久男
平成19年度部名	福祉部	課名	津久井福祉課	課長名	斉藤 久男
事務事業名	生きがいデイサービス事業				
予算上の事務事業名	生きがいデイサービス事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市津久井地域生きがいデイサービス事業実施要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>在宅の高齢者に対し、通所の方法により各種のサービスを提供することにより、当該高齢者の自立生活の助長、孤立感の解消、いきがい趣味活動の習得、心身機能の維持向上を図り、要援護状態にならないよう予防を図ることを目的とする</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>津久井町地域内に居住するおおむね65歳以上の在宅の高齢者で、要介護者及び要支援者以外の者</p> <p>(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>実施方法 生きがい活動、昼食、送迎、入浴サービス、その他日常生活訓練及び健康チェック等を提供する。 利用者負担額 1回当たり1,000円 登録者数 16人 述べ利用回数 904人</p>				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	旧津久井町の継続事業。本市においても実施。				
8 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	4,320	4,320	4,320
一般財源	0	0	4,320	4,320	4,320
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	395	395	395
事業コスト合計	0	0	4,715	4,715	4,715
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	生きがいデイサービス事業			対象名称 と単位	登録者数(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	4,715	4,715	4,715
対象数	0	0	16	20	25
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	294,688	235,750	188,600
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.80	0.80

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	サービス利用回数の対前年比	指標式と指標の説明	本年度延利用回数 / 前年度延利用回数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	144.4		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	144.4		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	サービス利用回数の対前年比	指標式と指標の説明	本年度延利用回数 / 前年度延利用回数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	144.4		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	144.4		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		高齢者にとってひきこもりや介護予防の観点から自立支援を促す事業は、推進していく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
介護予防の観点から地域包括支援センター等協力し、事業のPR、利用者の促進に努める。			介護予防としての、事業の周知が様々な場面でPRが必要である。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			